

## 四地区コミュニティ活動再開

6月、緊急事態宣言解除により、ようやく、6月21日（日）中田公民館 大ホールに於いて臨時議会を開くことが出来ました。そこでは私達に出来ることを誠実に実行することが大切であると捉え、「広めない」「命を守る」ための対策を講じ、私たちの地域の感染リスクをみんなで回避していく取り組みをしようと決しました。



### 私たちにできることは

- 1 手洗いをしっかりする
- 2 マスクなど、咳エチケットに努める
- 3 不要不急の外出を自粛する
- 4 夜間の外出を自粛する
- 5 密閉・密集・密接の「3つの密」を避ける
- 6 「新しい生活様式」を実践する

### コロナ感染予防と熱中症対策

- ① 屋外で人と十分な距離がとれる場合は、マスクをはずすようにしましょう。
- ② 熱中症予防にはエアコンの活用が有効です。コロナ対策のために換気をしましょう。
- ③ のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を。(1日あたり2ℓ)
- ④ 体調に異変を感じたら、涼しい場所へ移動して休憩しましょう。
- ⑤ 日頃の健康管理に気をつけましょう。  
(厚生労働省パンフから)

再スタートは、新型コロナウイルスとの戦いです。負けるわけにはいきません。一人一人が、私たちにできることをしっかり守り実践・実行していくことが大切です。

みんなで心を合わせ撃退しましょう。

(第4地区コミュニティ会長 羽兼 邦夫)

# 今までとここが違うコロナ感染禍の避難

今までは命を守る為、避難所に早めに避難所する



新しい避難の考え方は感染予防を考えた避難

避難所は密集になりがちで集団感染になりがちです。

密集を避けるため自分なりに考えよう。

## 非常持ち出し品に追加

・マスク・体温計・アルコール消毒液・ハンドソープ・漂白剤・使い捨てスプーンや割りばし・ラップ・スリッパ・寝具（毛布など）・タオル（人数分）・携帯トイレ・ビニールシート（ゴミ袋で代用可）・使い捨て手袋



## もう一度見直そうコロナ感染禍の避難

🚗 浸水想定区域外に早めに遠くに避難（車中泊も選択肢）

🚗 警戒レベル3で避難弱者は早めに行動とる

🏠 家族や親戚・友人宅にいち早く避難しよう



避難所を  
マーク  
覚え



避難所では人との距離を1m～2m空けましょう

『手洗い・アルコール消毒』など感染対策を徹底する  
熱中症に気を付けて

『こまめに水分補給・アルコール類は控える』

エコノミー症候群の対策

『ストレッチなど軽い運動』をしよう



「第4地区の皆様には日頃から古河市の防災行政にご理解とご協力を賜り有難うございます。」

古河市では、今年4月にハザードマップを改訂し、その中で「マイ・タイムライン」を作れるようにしました。是非ご家族で相談しながら作ってみて下さい。また、今年から、古河四小は避難場所ではなく「さいごの逃げ込み施設」として、浸水想定区域外に避難する手段を持たない人や、何らかの理由で逃げ遅れてしまった人が「命」を守る場所としました。

車などで避難できる方は「早めに」「浸水想定区域外（ハザードマップの白い部分）」を目指して避難して下さい。

避難先は必ずしも避難所だけではありません。新型コロナウイルス感染症を防止する意味でも、「密」になりやすい避難所を避けた「分散避難」（車中避難を含む）をお願いします。

古河市防災監 石井様より

# コロナ禍における学校の取組



古河市立古河第四小学校  
校長 桑原 敬明

令和2年度  
本校のキャッチフレーズ

**明るく 楽しい きれいな学校**

共通実践「元気にあいさつ」

本年は、新年度に入っても新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休校が継続しました。5月下旬に、文部科学省から「学校の新しい生活様式」が示され、6月に入り、1日（月）から分散登校をしながら授業や学級での取組が徐々にスタートしました。8日（月）には、学校再開となり、通常登校による学校生活を送ることができるようになりました。

学校再開後、本校では、『健康状態の確認、マスク着用』や「手洗い・手指消毒の徹底」、「3密を避ける」などの取組を進めながら学習や学校生活を送るようにしています。

## 手洗い・手指消毒の徹底



## 健康状態の確認、マスク着用



## 3密を避ける



児童一人一人が、学校としての取組を自覚し感染症拡大の防止に努めるとともに、各家庭に協力をいただきながら、安心して安全な生活を進めています。

## 子供会の紹介



中田新田子供会は、小学生26名で活動しています。12月にボーリング大会を行い、みんなで楽しみました。その他に

も年に5回の廃品回収や、人形劇&マジックショーの観覧をしたり、ドッジボール大会や提灯竿もみ祭に参加したりと、学年に関係なく仲良く活動しています。



## 学校教育目標

めあてを持ち

鍛え 高め合う生徒の育成



～自ら学び、夢に向かって一人一人が輝く古河二中～

古河市立古河第二中学校長

栃木 円

日頃より、第四コミュニティの皆様からの多大なるご支援を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。生徒数574名、職員数58名、学級数21という古河市で一番大きな学校です。地域、家庭、学校がスクラムを組み、共に課題に取り組むたいと考えております。しかし、新型コロナウイルス感染症防止対策により、例年通りの正常な教育活動ができないことが残念でなりません。登校した生徒達は、とても落ち着いております。古河二中では、感染予防を第一に考え、「命を守ることを最優先」にして、1日も早く活気ある学校生活を取り戻すため、我々職員一同、精一杯努めて参ります。今後とも、地域の方々のご理解・ご協力をお願いいたします。

## 古河二中の「新型コロナウイルス感染症予防対策」の取組を紹介します。



毎朝、校舎に入る前に健康チェック。（非接触型体温計）



トイレが密集しないようスリッパの数で人数制限。



各教室前に、消毒液を置き、生徒が主体的に手指の消毒ができるようにしています。



授業でグループ活動をする際には、感染症予防対策を配慮した二中スタイルで。



給食の配膳も、3密を避けるための動線を考えて行っています。



放課後は、教職員で各教室等を消毒しています。

### 【編集後記】

往還 11 号では、地震や洪水など自然災害の際の避難とコロナ感染予防対策について特集しました。非常時には「命を守る」を優先に、この号を参考に行動していただければ幸いです。